

発刊にあたって

財団法人富山県健康スポーツ財団

専務理事(スポーツ担当)

富山県総合体育センター

センター長 畠 隆 夫

今年2月に第21回オリンピック冬季競技大会(2010ノバンクーバー)が開催され、富山県の田畑 真紀選手(スピードスケート)、穂積 雅子選手(スピードスケート)が女子チームパシュート種目でみごと銀メダルを獲得されました。オリンピックで頑張る姿に富山県民をはじめ日本国中が元気をもらったことでしょう。

富山県からオリンピックに出場する選手が多く生まれることによって、富山県全体がスポーツで活性化することを期待します。

そういう選手が現れるためには時間が必要で、ジュニア期から一貫した練習、トレーニングを行っていかねばなりません。そして、その成果を上げるためには、継続して医・科学に基づいた様々なサポートを行っていく必要があります。また、スポーツ医・科学的トレーニング推進事業を通して、オリンピックの価値、スポーツの価値を広く県民に理解していただくことも大切な役目だと思っております。

本誌では今年度のサポート内容について掲載いたしましたので、本県の指導者や選手の皆様に一読いただき、競技力向上のためにお役立ていただけることを期待し、発刊のことばといたします。